

# 理事長あいさつ

## ■ 地域社会より必要とされ信頼されるシルバーを目指す

理事長 川野武豊



あけましておめでとうございます。本年も会員そして、ご家族皆様のご健康とご多幸を願っています。

昨年末には慌しく「アベノミクス解散」による衆議院議員総選挙が行われ、自民党が勝利しシルバー事業関係者からは歓迎すべき結果であったとの見方が多数のようです。

しかしながらシルバー事業は益々厳しい環境下へと進んでいます。平成27年度より国からの補助金の減額が予定され事業運営に不安を感じるころですが、一方では、「派遣事業に取り組むところには補助金を増額する」としています。「努力するところには援助します」と云う、国の姿勢がうかがわれます。

平成26年度当シルバーの業績(4月～11月)は契約金額101,072千円で前年度対比112%と好調に推移しました。また会員数は前年度末313名から329名で16名の増加で105%となりました。



改めて、就業機会の提供を頂いた精華町をはじめ、一般企業・一般住民の皆様へ感謝し、お礼申し上げます。また、就業に励んで頂いている会員及び事務局役員のご協力に謝意を表します。

現在、当シルバーは「地域人づくり事業」で、国及び府・精華町の援助のもと、就業開拓職員及び全会員理事総出で就業開拓推進に力を注いでいます。従来からの就業先、及び途中で途切れた先、そして新規就業先へのリサーチを行い、当シルバーへの要望や期待が浮き彫りにされており、今後のシルバー事業運営方針に大いに役立つものと、期待が膨らむところです。

平成27年度は全国シルバー人材センターの課題である「派遣事業への積極参入」、そして「介護保険制度の改定によるシルバー人材センターの対応」などが、当シルバーの大きな課題となります。両課題とも参入に必要な諸条件が整わず、目標(課題)達成には相当なる努力と準備が必要となります。

何れにせよシルバー人材センターは、地域社会より必要とされ信頼される存在である事が必須条件となります。この条件にマッチした課題に取り組み、精華町シルバー人材センターの益々の発展に会員の皆様と共に頑張っ参りたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

# 新年のあいさつ

事務局職員一同

専務理事	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副理事長	理事長
綿崎健	廣利勝行	長島正明	森島秀行	真島勝	田中植雄	篠原修彦	齋藤光子	音羽豊	岩前良幸	岩里周英	井上美代	羽場三喜男	川野武豊

謹んで新年のお慶びを申し上げます